

亡きロシアの巨匠に捧げる、生誕90周年記念ツアー！

State Academic Symphony Orchestra "Evgeny Svetlanov"

スヴェトラノフ記念

# ロシア 国立交響楽団



指揮：西本智実 / マリウス・ストラヴィンスキー  
独奏：リリヤ・ジルベルシュタイン

2018年9月全国ツアー予定！



かつて「ゴスオケ」と呼ばれたソビエト国立交響楽団時代以来、巨匠スヴェトラノフが率いて一世を風靡し、日本でも伝説的な演奏を繰り広げたオーケストラが久々の来日を果たします。前回2011年5月の来日公演では、震災の影響により多くの海外演奏家が公演をキャンセルする中で来日を慣行。人気指揮者西本智実と共に名演を繰り広げて称賛を集めました。

7年ぶりの来日は、チャイコフスキー「第5交響曲」「悲愴交響曲」を中心とした名曲プログラム。スヴェトラノフの生誕90周年のオマージュとなる内容で臨みます。西本に加えてロシアからは大作曲家の血を引くマリウス・ストラヴィンスキーが登場。

唸る弦楽器群、咆哮する金管・・・ロシアの伝統、魂の叫びに身を委ねてください！

## スヴェトラノフ記念ロシア国立交響楽団



ロシアで最も伝統のあるオーケストラの1つであるこの楽団は、1936年にモスクワ音楽院大ホールにて初演を果たして活動を開始。アレクサンドル・ガウク、ナタン・ラフリン、コンスタンティン・イワノフ等が音楽監督を務める。特に、エフゲニー・スヴェトラノフが音楽監督に就任して著しく成長し、「スヴェトラノフ交響楽団」とも呼ばれるようになった。2011年にはウラディーミル・ユロフスキを音楽監督に迎えて現在に至る。これまでに、マゼール、ロストロポーヴィチ、ムラヴィンスキー、ゲルギエフ、テルミカノフ、ロジェストヴェンスキー等の指揮者、またバシュメット、ブロンフマン、キーシン、ベレゾフスキー、メニューイン、オISTRAフ等、一流の演奏家と共演を果たしてきた。

CD録音においては、メロディア、EMIクラシックス、BMG、ドイツグラモフォンなどよりロシアの古典音楽から現代まで幅広いレパートリーが発売されている。最近ではユロフスキによるマーラー編曲「ベートーヴェン：交響曲第9番」等がリリースされている。

## 西本 智実【指揮】

現在、イルミナートフィルハーモニーオーケストラの芸術監督兼首席指揮者、日本フィルハーモニー交響楽団ミュージックパートナー。

2011年よりオリンバスホール八王子のエグゼクティブプロデューサー。

大阪音大作曲科を卒業後、ロシア国立サンクトペテルブルク音楽院オペラ・シンフォニー指揮科に留学。名門ロシア国立交響楽団首席客演指揮者、サンクトペテルブルク国立歌劇場首席客演指揮者等を外国人で初めて歴任。英国ロイヤルフィル、リンツブルックナー管、モナコのモンテカルロフィル、ハンガリー国立歌劇場、ブラハ国立歌劇場、ウクライナ国立オデッサ歌劇場など成功を収め、現在ヨーロッパでの活動を広げつつ、カーネギーホールにてアメリカンシンフォニーを指揮し大成功をおさめ、2011年シーズンからはウェストチェスター交響楽団定期演奏会に招聘され、アメリカにも進出。

2007年よりダボス会議を主催する「世界経済フォーラム」のヤング・グローバルリーダーに選出されており、2012年にはハーバード大学ケネディスクール「エグゼクティブ エデュケーション」に奨学金研修派遣され修了するなどその活動は世界から注目を集めている。

西本智実公式HP <http://www.tomomi-n.com/>

## Tomomi Nishimoto



Photo:Daisuke Oki

## マリウス・ストラヴィンスキー【指揮】

カザフスタン生まれ。4歳からヴァイオリンを始め、6歳でモスクワ中央音楽学校に入学、10歳よりロンドンへ留学、ユーディ・メニューイン・スクール、イートン校を経て英国王立音楽院を卒業した。このうち、イートン校では、音楽による史上初のソ連人給費留学生となる。14歳よりヴァイオリニストとして各地で活躍、エクサンプロヴァンス音楽祭、スポレート音楽祭、ロッケンハウス音楽祭、ブリュッセル音楽祭、メルボルン音楽祭、マルタ島国際音楽祭等へ出演する。一方、マリス・ヤンソンスとの出会いから指揮へ目覚め、イゴール・ゴロフチン、トーマス・ザンテルリンク等名指揮者に師事、1998年にはクラウディオ・アバドのアシスタントを務めた。在学中より英国王立音楽院の同窓生からなるオーケストラを結成して指揮活動を開始し、2002年モスクワ国立交響楽団及びモスクワ・ヘリコン歌劇場アシスタント・コンダクターへ就任、2007年ロシア北西エリア最大の楽団、カレリア・フィルハーモニー管弦楽団の招きを受けてロシア史上最年少の首席指揮者となり、フィンランド、ノルウェー、フランス、スイスへもツアーを行う。2013~14年ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団音楽監督ウラディーミル・ユロフスキの要請で同楽団の副指揮者を務め、同楽団のほか、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、フィルハーモニア管弦楽団、ベルリン・シュターツカペレ、ベルリン・ドイツ・オペラ等欧州各地に客演、サンクトペテルブルクのマリインスキー劇場やモスクワのスヴェトラノフ記念ロシア国立交響楽団へも定期的に登場している。

## Marius Stravinsky

